

第3回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年2月18日	会場	第1委員会室	案件	建設水道事業の施策について
出席委員	山田典幸、佐久間誠、塩田昌彦、今村芳彦、三浦勝秀、富岡達彦				
委員外議員					
欠席委員					

【報告事項】

(建設水道部)

1) 瑞生団地整備事業基本設計の概要について

瑞生団地整備事業基本設計の概要について担当課より図面を基に説明を受けた。基本設計では、建て替え場所を西町団地跡地とし、整備戸数は6棟16戸。現入居者のほとんどが単身もしくは2人世帯であることを考慮し、2DKを8戸、2LDKを4戸、3LDK4戸を整備する計画。

建設事業期間は、令和4年度から令和6年度とし、前年に実施設計を行う。「屋外の工作物を少なくし、冬の雪の堆積スペースを多くとれるよう配置したい」などの説明があった。

栄町団地の改修計画について口頭で報告された。栄町団地は5棟90戸の入居が可能だが、建設から30年以上が経過し老朽化が進んでおり、半分の45戸が空き家。このため、意向調査、説明会を開催し、令和3年から2カ年で1～3棟までの42戸を改修整備する。4、5号棟の2棟については他用途で活用の見込みがなければ除却するとの報告を受けた。

【質疑】

Q 瑞生団地で再生可能エネルギーの導入予定はあるか。

A 協議は行ったが、賃貸住宅ということもあり再生可能エネルギーの導入予定はない。

Q 移転後に建物は解体するのか。また、建替え先は西町地区になるが名称は「瑞生団地」とするのか。

A 旧耐震構造であり更地にする考えである。団地の名称も「瑞生」を引き継ぐ。

2) 名寄市上下水道事業経営審議会経過報告、「名寄市水道事業経営戦略」及び「名寄市下水道事業経営戦略」改定素案について

担当課より、名寄市上下水道事業経営審議会の審議経過（全4回）についての報告を受けた。次いで「名寄市水道事業経営戦略」及び「名寄市下水道事業経営戦略」改定素案について、スケジュール等の説明後に素案のポイントについて説明を受けた。

本市水道事業は、経営の効率化及び健全化を目指した「名寄市水道事業経営戦略」を平成30年3月に策定し事業運営を行い、平成31年4月には料金改定を行ってきたが、大口需要の撤退による想定していなかった給水収益の大幅な減収など、事業収支に大きく影響する懸念が出てきたため、事業の収支計画を見直し引き続き効率的な事業経営に取り組めるよう「名寄市水道事業経営戦略」を改定しようとするもの。

また、名寄市下水道事業については、令和2年4月から、水道事業同様に企業会計で管理し地方公営企業法の全部を適用する事業となり、官庁会計方式（単式簿記）から企業会計方式（複式簿記）になった。その結果、「投資・財政計画」を企業会計方式で作り変える必要が生じたことや、人口減少に伴う使用料収入の減少が続いており、事業収支に大きな影響が出るが見込まれるため、令和2年度において「名寄市下水道事業経営戦略」を改定するものであるとの説明を受けた。

【質疑】

Q 料金改定は当面ないのか。

A 審議会でも議論いただき、令和5年まで改定は避けることにした。自衛隊の給水開始も、王子マテリア(株)の撤退も最大限の影響を見通して計画している。

Q 水の供給単価よりも給水原価のほうが安い。原因は。

A 合併の料金統一時から逆転現象を起こしている。ランニングコストが減っていない。

Q 職員の年齢構成、組織体制と技術継承について、適正配置を。

A 技術継承を進めながらやっていく。

Q 老朽管の更新や漏水対策は。

A 老朽管対策と漏水対策はイコールである。ウイークポイントがわかれば最大限の効果がある方法で工事を進めていきたい。

その他

2つのテーマについて、建設水道部と委員間で意見交換を行った。

- ・除排雪について
- ・道路整備について

次回常任委員会日程は2月25日、午後1時30分から経済部に関わる委員間の意見交換を行うことを確認し、第3回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 佐久間 誠